

# 特別支援学校における児童の協働的な学びを育む授業研究

教育実践高度化専攻 児童発達支援コース 特別支援教育実践系

氏 名 (杉浦 美優香)

知的障害特別支援学校小学部1・2年生学級の児童を対象に、朝の会と自立活動に焦点を当て協働的な学びを目指す授業のありかたについて検討を行った。

「物理的環境支援」「補助的手段」「人的支援の在り方」「学習機会の在り方」「多様な評価」といった5つの観点から授業づくりを行い、応用行動分析の手法を用いて授業への参加率を調べ、授業改善を行った。授業改善では、物理的環境設定を整えた上で児童の学習機会の検討を行った。その上で順次児童が行う役割を導入及び改善した。その結果、小集団指導において物理的環境設定を改善することで授業への参加率が増加することが明らかになった。また、朝の会と自立活動において、授業改善が見られたため「授業づくりの5つの観点」を発展させて、他の授業でも活かせることが示唆された。